

『災害時の救援』に関する調査 へのご協力ありがとうございました。

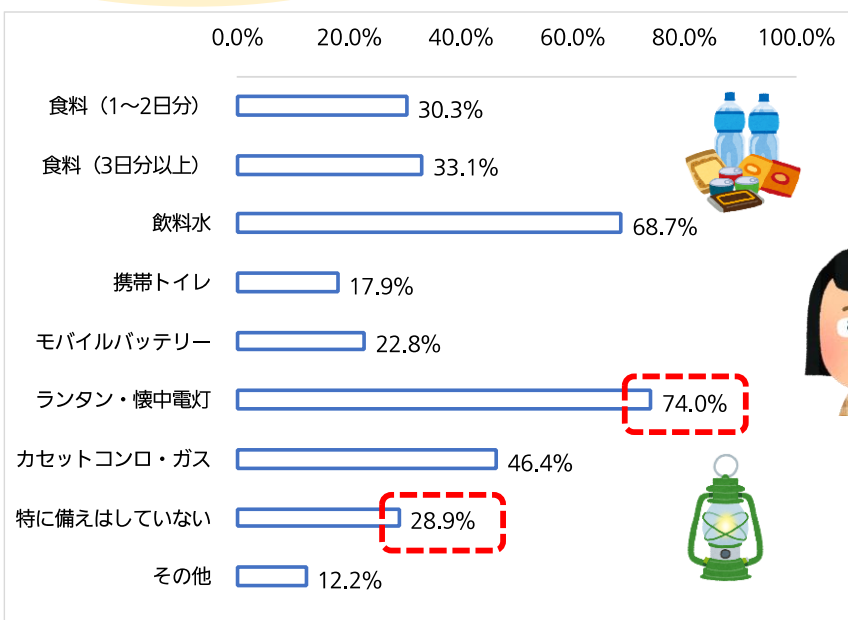


大阪府福祉基金地域福祉振興助成事業

1月10日までに940通のご回答をいただきました。集会所に持参してくださった皆さま、ポストに投函してくださった皆さま、インターネットの回答に挑戦して下さった皆さま、ありがとうございました。
今後、皆様のご回答、ご意見をもとに、森之宮地域の状況に合った防災への取り組みを進めていきます。

調査結果からみる森之宮地域の様子

備蓄の様子



回答した人のうち、74%の人がランタンや懐中電灯を持っているのね。携帯トイレを持っている人は少ないのね。トイレの水を流せなくなったら困るから、あった方が良いのかも…水や食料って、どのくらい準備しておくのがよいのかな？

ねえねえ…
「特に災害への備えはしていない」と答えた人が、28.9%もいるよ。大丈夫なのかな…困るんじゃないかな…

皆さん、他にどんなものを備蓄しているのかな？

どんなものを備蓄しているのか、たくさんの方が教えてくださいました！

食べ物では、カップ麺や缶詰、カレーなどが多かったです。その他、数人ですが、アルミシートや携帯トイレを備蓄している方もおられました。

でも気になる備蓄方法もありました。冷凍した肉や魚、普段使いの野菜など冷蔵庫に入っているものは、電気やガスが止まってしまうと、調理できなかつたり、あっという間に傷んだりして備蓄と考えにくいかも…

もう一度、備蓄を見直してみてくださいね。

必要な備蓄の量

以前は食料や水は3日分の備蓄が推奨されていましたが、大規模災害では1週間分の備蓄が必要になると言われています。水は、一日あたり一人3リットルが必要なので4人家族だと84ℓ、2ℓのペットボトル42本分ということになります。

たくさん必要なんだね。水が無くなったら困るから、準備しておこう！

備蓄の必殺技!!

ローリングストック法



普段から少し多めに食材や加工品を買っておき、使った分だけ新しく買い足して、常に一定量の食料が家に備蓄されている状態を「ローリングストック法」と呼びます。

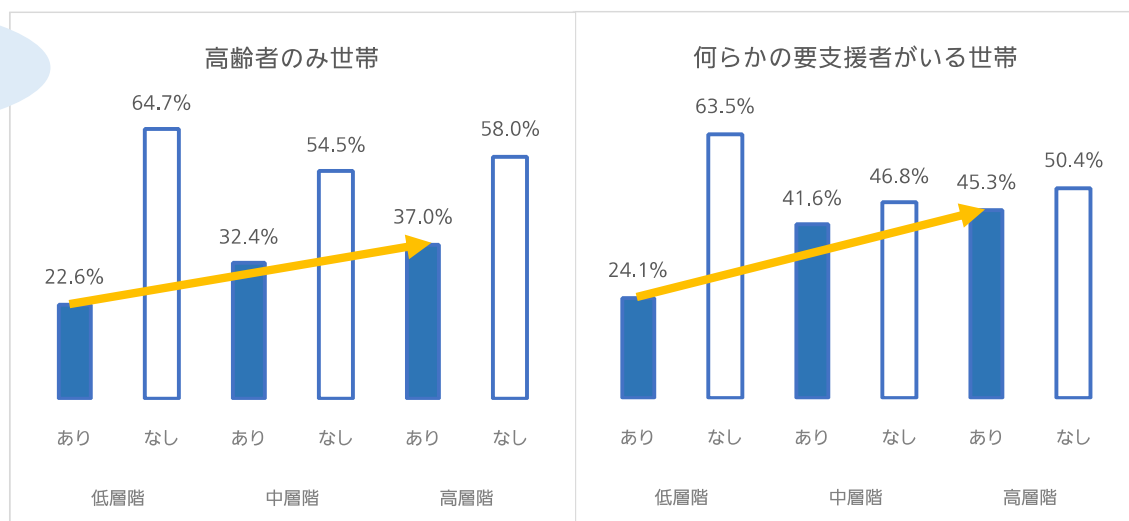
普段から使い慣れていれば、いざという時も慌てずにすみませぬ。

発行：社会医療法人大道会森之宮病院
協力：城東区役所、UR都市機構、
城東区社会福祉協議会
調査：一般財団法人ダイバーシティ研究所

【調査結果に関するお問い合わせ】
一般財団法人ダイバーシティ研究所
TEL：06-6152-5175
E-mail：office@diversityjapan.jp

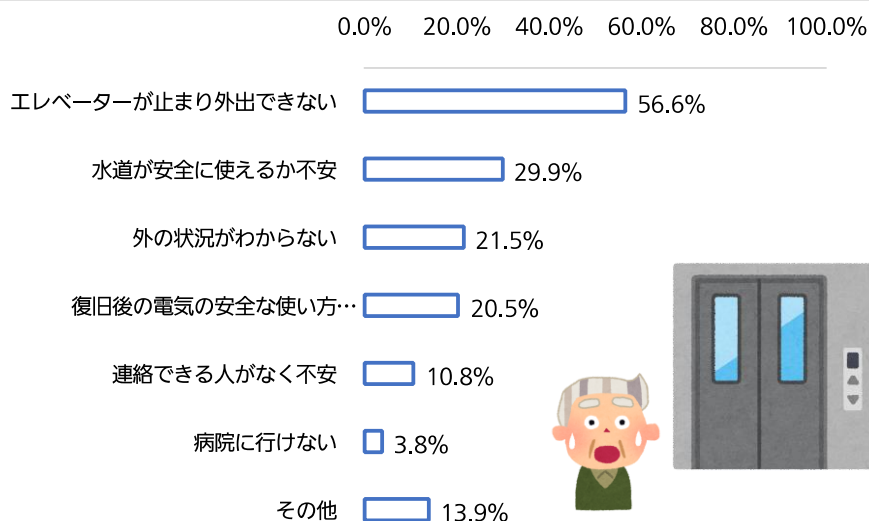
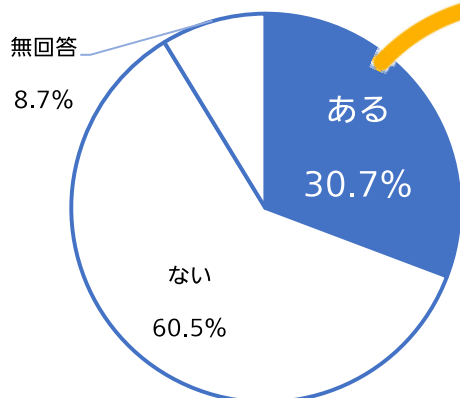
大規模災害が発生した時、 救助や支援が必要な住民の方が、たくさんおられることがわかりました

支援が必要な 世帯の様子



大阪部北部地震で「困ったことがあった」と答えた方の世帯の様子と住居の高さを見てみると、高齢者や何らかの支援が必要な人がいる世帯では、階数が高くなるほど、困ったことが多かったことがわかりました。今期は、中高層階からの救援・救出に役立つ備品購入にも助成金を活用いたします。

大阪北部地震 で困ったこと



57.8%の方が、 災害が発生したとき、可能な範囲でお手伝いをすると答えてくださいました！

34.4%の方が、「緊急時に駆けつけたり助けてくれる人がいない」と回答されました。救助を必要とする切実なご意見もありました。57.8%の方が「出来る範囲でお手伝いをする」と回答いただいております、地域内の共助の仕組みづくりや、災害時に助け合う練習を進める必要があることがわかりました。



令和2年2月16日（日）午前10時～午後1時頃（予定）
in 森之宮小学校

森之宮もちつき大会でアンケートの結果の紹介や防災クイズ、
防災備蓄品や地域の災害資機材の展示を行っています！

防災コーナーを見に来てね！

お一人でも多くの方が安心出来る地域づくりを目指しています。皆様のご意見をお寄せ下さい。

